

外交史Ⅱ

科目ナンバリング INR-102
選択 2単位

山口 航

1. 授業の概要(ねらい)

この講義では、第二次世界大戦後の米国外交に焦点を合わせ、外交史の基本的な流れを論じていく。外交の基本的なしくみや今日的な課題などを幅広く学ぶ。

2. 授業の到達目標

- 1) 外交史の基本的な知識を得る。
- 2) 外交史を多角的に分析することができるようになる。
- 3) 今日の外交の諸問題をより深く理解することができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- 1) 平常点 30%(コメントなど)
- 2) ブック・レポート 20%(教科書『昭和史講義【戦後篇】』下)
- 3) 期末試験 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

佐々木卓也編 『戦後アメリカ外交史[第3版]』 有斐閣、2017年
筒井清忠編 『昭和史講義【戦後篇】』下 ちくま新書、2020年

5. 準備学修の内容

教科書の該当箇所を読むこと。
より深く学びたい人は、参考文献(適宜授業中に紹介する)も読むこと。
継続してニュースに接する習慣を身につけること。

6. その他履修上の注意事項

ノートをしっかり取ること。
外交史Iも受講すると理解が深まる。
受講者の関心に合わせて、授業計画の変更もあり得る。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 戦後外交の起点——ローズヴェルト
- 【第3回】 戦後外交の起点——トルーマン
- 【第4回】 冷戦の変容とアメリカの蹉跌——アイゼンハワー
- 【第5回】 冷戦の変容とアメリカの蹉跌——ケネディ
- 【第6回】 冷戦の変容とアメリカの蹉跌——ジョンソン
- 【第7回】 パクス・アメリカーナの揺らぎとデタント外交——ニクソン
- 【第8回】 パクス・アメリカーナの揺らぎとデタント外交——フォード
- 【第9回】 パクス・アメリカーナの揺らぎとデタント外交——カーター
- 【第10回】 冷戦終結外交と冷戦後への模索——レーガン
- 【第11回】 冷戦終結外交と冷戦後への模索——G. ブッシュ
- 【第12回】 新しい秩序を模索するアメリカ外交——クリントン
- 【第13回】 理念外交の軍事化とその帰結——G. W. ブッシュ
- 【第14回】 混迷する世界情勢と転換期のアメリカ——オバマ
- 【第15回】 まとめ